

むこせ 慎一



県知事選

平和でも暮らしでも
希望が持てる
島根に



ごあいさつ——“住み続けられる島根へ”力を合わせましょう

島根県政が改めるべき課題はたくさんありますが、県民のみなさんと共同する知事ができれば改善できます。県民の声を代表し、国政にしっかりモノを言う役割も、知事にとって大きな仕事の一つ。福島原発事故を忘れたかのような「原発回帰」、物価高騰に無為無策、大軍拡・大增税、医療や福祉くらしの支援は後回し——岸田政権への批判の声を、県民を代表して堂々と表明する必要があります。

大軍拡の財源確保のためと、医療、年金、介護を削る、消費税大增税も。私は、島根原発2号機の再稼働同意を撤回し、なにより、平和と暮らし、いのちを大切にする県政に転換するためにがんばります。

自民・公明中心の「オール与党」が支える

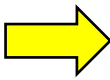
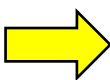
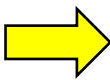
“国の悪政いいなり”のいまの県政

■島根原発2号機の再稼働に同意
「原発ゼロ」を決断できない

■教職員、保護者の願いに背を向け
少人数学級編制を後退させる

■防災・減災対策よりも
住民合意のない松江北道路建設を推進
(総事業費 約250億円)

VS



平和と民主主義、暮らしを守るためブレずに頑張る

日本共産党の対決です

■島根原発2号機の再稼働を撤回
「原発ゼロ」で省エネ・再エネを推進

■教員ふやし、少人数学級推進
教職員の勤務環境改善、多忙化の解消

■住民合意のない大型事業の中止
防災・減災対策を最優先に

裏面に「5つの改革プラン」

原発回帰、物価高騰に無為無策、大軍拡・大增税・・・岸田政権に島根から審判を



1971年、石川県生まれ。山形大学大学院工学研究科博士前期課程修了。民青同盟島根県委員長、党西部地区副委員長などを経て現在、党西部地区委員長。趣味はスキー、バイク。

① 県民のいのちと暮らし、地域経済を支える県政へ



江の川下流域自治体で要望を聞く



被災地の議員らと政府交渉

物価高騰、コロナ禍での県民の暮らしの深刻さは、国の新自由主義路線があります。国の政治の防波堤となり、県民のいのちと暮らしを守ることは、県政の一番の仕事です。

むこせ慎一は、18年の西日本豪雨、20年7月豪雨、21年7、8月の豪雨など、被災の自治体を訪問。被災者の声を聞き、支援活動に懸命に取り組みました。政府交渉にもたびたび出向きました。

- 医療・保健所体制の充実、中小企業支援とセットで最低賃金の引き上げ
- 看護師や介護福祉士、保育士などエッセンシャルワーカーの処遇改善
- 年金削減ストップ、消費税5%減税、インボイス制度の中止
- 国民健康保険料の引き下げ、介護保険の負担軽減、水道料金値上げストップ
- 米価下落対策、畜産農家への緊急支援、農林水産業の再生
- 子ども食堂へさらなる支援を
- 予期せぬ自然災害に備え、防災・減災対策を最優先に

② 原発ゼロ・気候危機打開を島根から

- 島根原発2号機の再稼働同意は撤回
- 省エネ対策・再エネ促進で、新たな産業と雇用の創出を

原発は高コスト電源——政府も否定できず

福島原発事故以降、原発が高コスト電源であることが露わに。事故前の政府試算では、原発は1kW 時あたり5.9円とされていましたが、21年8月の試算では、原発は11.7円以上となり、太陽光発電(事業用 8.2円～11.8円。住宅用 8.7円～14.9円)や、風力発電(陸上 9.9円～17.2円)よりも高くなっています。

③ 子育て応援3つのゼロ。教育環境の改善を

- ▶ 18歳までの医療費ゼロ
- ▶ 学校給食費ゼロ
- ▶ 0～2歳児も保育料ゼロ

- 少人数学級の推進、教員の多忙化解消
- 学費など教育の負担軽減
- 給付型奨学金制度の抜本的拡充

④ ジェンダー平等を実現し、誰もがいきいき輝く島根に

- 選択的夫婦別姓、男女の賃金格差の是正
- あらゆる性暴力から県民を守る
- 公共施設のトイレに生理用品を常備
- 県政の意思決定の場に女性を増やし、あらゆる政策決定にジェンダーの視点を

だれもが自分らしく

GENDER EQUALITY

ジェンダー平等社会へ
いまこそ政治の転換を

詳しくは



⑤ 税金の使い方を暮らし最優先に国の政治にもしっかり発言

- 松江北道路建設(約250億円)の見直し・中止
- 米軍機の低空飛行訓練中止、美保基地の軍備機能強化反対
- 地域交通の充実。生活道路などインフラ整備
- 各層運動団体、市民団体との懇談を定期的
- 県民の立場で国の政治に「NO」と発言